

地方経済

酒米「雄町」購入、小水力発電： 出資求め事業説明

岡山 投資家ら50人に7社

インターネットで小口の出資を募るクラウドファンディングを活用し、岡山県内企業の地域活性化に向けた取り組みを支援する県の「岡山ふるさと投資応援事業」で、支援対象企業による投資家への事業説明会が24日、岡山市内で開かれた。

レストラン、酒造、自然エネルギー事業など支援対象9社・個人のうち、7社が投資家ら約50人にそれぞれの計画を発表した。

室町酒造(赤磐市)の花房満社長は、大吟醸や純米酒といった高級酒に用いる岡山発祥の酒米「雄町」の購入資金に充てると説明。



出資を求めて事業内容を説明する企業代表者

投資家には雄町で仕込んだ純米酒や酒かすを贈ることも触れ、「岡

山のグループ会社・エリス(同市)は、中山間の用水路で小水力発電設備を導入する計画を披露。雑貨製作・販売の幸人遊名(津山

市)は、微生物を使っ

た浄水システムを活用してうなぎの養殖事業を拡大し、津山産うなぎとして全国販売するプランを示した。

岡山ふるさと投資応援事業は、県が地域資

源を活用した商品やサービスの開発を促そうと初めて企画。県中小企業団体中央会やクラウドファンディング運営会社・ミュージックセキユリティーズ(東

京)と連携し、専用サイトで出資を募っている。1口2万〜3万円程度で、事業の売り上げに応じて出資者に分配金を配当する。

(鳥越謙一)